ダンボールコンポスト Q&A

Q1 毎日ごみを入れると、量が増えてあふれませんか？

A　毎日ごみを入れても順調に発酵していれば、量はあまり増えません。生ごみの約80％は水分ですので、微生物と基材のはたらきでその水分は蒸発し、固形物もほぼ分解さます。

Q2 生ごみ量が少ないのですが…

A　基材の穴を小さく掘り、生ごみを入れます。ダンボールコンポストを初めてから2週間位（微生物が十分働くようになるまで）は、あまり深く混ぜないようにしましょう。また、入れた生ごみは、混ぜると水分が飛び、発酵が遅くなるので混ぜない。

Q3 生ごみの量が多いのですが…

A　ダンボールコンポストの処理能力は約700g/日です。
それ以上に生ごみが多い場合は、2箱用意して交互に使ってください。

Q4 生ごみを入れる時に注意することは…

A　繊維質や硬い生ごみは、小さくして入れると分解も早くなり、よく混ざります。

Q5 なかなか生ごみが減らないのですが…

A　水分不足か、カロリー不足が原因です。水分不足の場合は、米のとぎ汁などで水分補給をします。また、野菜中心の生ごみはカロリーが少なく分解が遅いので、時々、ひとにぎりの米ぬかやカロリーの高いものを入れると分解が進みます。

Q6 カロリーの高い生ごみは何ですか…

A　魚の内臓、食用廃油、甘い物、炭水化物などです。

Q7　寒くなったら生ごみが分解しないのですが…

A　10℃以下になると分解は進みません。陽当たりの良い場所や保温を工夫してカロリーの高い生ごみを投入すれば、ゆっくりと分解します。
ダンボールコンポストの設置場所もよりますが、恵那だと1～2月は分解が進まないのでお休みし、設置型コンポストに生ごみを入れ、春になったら堆肥化するのも一案です。

Q8　ダンボール箱の中味の温度を上げたいのですが…

A　微生物の働きやすい環境をつくりましょう。
①食用廃油を50cc位入れる。
②魚の内臓は効果抜群！
・煮炊きしたものよりも、生の方が温度が上がります。
（但し、アンモニア臭の発生あり）
・アラが出た時は、冷凍庫などで保存して少しずつ入れる。
③ダンボールコンポストを保温する
・設置場所は風の吹きぬける場所を避ける。
・ダンボール箱の中にペットボトルの湯たんぽ（80℃程度のお湯）を入れる。
・ダンボール箱に毛布を掛けたり、大きいダンボール箱で覆うなど、いろいろ工夫してみる。

Q9　温度が上がらないけれど、大丈夫ですか…

A　温度ばかりに気を取られなくていいです。分解が進んでいるかどうかの見極めは温度よりかさが増えているか、いないかです。かさが増えていなければ、分解しているので、大丈夫です。
また、温度が上がるのは、生ごみを投入してから8時間後位ですが、ダンボール箱の容積が小さい分だけ温度も冷めやすくなっています。知らない間に温度が上がり、下がっているので大丈夫です。

Q10　臭いが気になりますが…

A　■原因
①生ごみの量が多すぎて、水分過多になっていませんか？
②魚のアラや生肉などをたくさん入れると、生ごみの分解が早く温度も上がりますが、アンモニア臭が発生します。
■消臭方法

一時的に生ごみの投入を中止し、1～2日、空気を入れるように良く混ぜると臭いは無くなります。

Q11　生ごみを入れない日があってもいいですか…

A　問題ありません。しっかり蓋をして防虫し休ませてください。
ただし、できれば留守にする数日前からごみの投入を中止し、入れた生ごみをしっかり分解させておくと、生ごみが腐る心配がありません。
生ごみ投入を再開する時は、よく混ぜて基材をほぐし、乾きすぎている場合は水 500㎖ を入れて混ぜると、徐々に生ごみが分解を始めます。

Q12　うじ虫が発生しました！

A　■原因

①キャップはかぶせていましたか。
また、虫が入らないようにキャップの下をゴムなどで止めておきましたか。

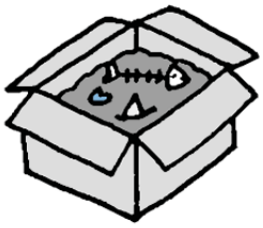
②キャップについていた虫の卵が箱の中に入りませんでしたか。
特にキャップが折り重なっている部分や裏側は、要注意です。気をつけて見てください。

③生ごみを長時間、放置していませんでしたか。
放置している間に虫が卵を産みつけたかもしれません。生ごみをすぐに箱に入れない時は、密閉容器などに保存しましょう。

■対処方法

①粉ダニなどの小さな虫が発生したらカロリーの高い物を投入し、温度を2日間程度上げ続ければ死滅します。

②アメリカアブなどの大きな幼虫は、ビニール袋の中にダンボールコンポストの中味を入れて密閉し、炎天下に1～2日間放置すれば死滅します。熱射と酸欠により死滅した虫は、分解されて栄養になるので取り出す必要はありません。

Q13　堆肥をつくる時のダンボール箱は何でもいいですか…

A　ダンボール箱は、防水加工がしてない2重構造のものを使用します。
段ボール箱は、この生ごみ処理方法の一番大切な役割（水分調整と通気性）を持っていますので初めての方は、先ずコンポスト専用のダンボール箱の利用をお勧めします。